

愛媛県精密検査実施医療機関届出実施要領

1 目的

健康増進法に基づく健康増進事業として市町が実施するがん検診及び肝炎ウイルス検診の精密検査の精度向上を図るため、精密検査実施医療機関を届出により公表することとし、必要な事項を定める。

2 実施方法等

- (1) 精密検査実施医療機関を、届出により公表する。
- (2) 医療機関が届出をする場合は、各検診精密検査実施医療機関届出書（以下「届出書」という。（様式第1～5号））を愛媛県生活習慣病検診等管理指導会議（以下「会議」という。）各部長宛に毎年1月31日までに提出する。ただし、届出書及びえひめ電子申請システム（手のひら県庁）を使用するときは、当該システムへの記録をもって届出書の提出に代えることができる。
- (3) 会議は、提出された届出書を取りまとめ、会議各部会（以下「部会」という。）において届出医療機関を、別記届出基準に基づき精査し名簿を作成する。

3 届出医療機関名簿の作成等

- (1) 会議は、上記により作成した届出医療機関の名簿を、保健所、市町及び検診団体に送付するほか、県ホームページに掲載することにより公表する。
- (2) 名簿については、医療機関名、診療科名、郵便番号、住所、電話番号、FAX番号を記載する。
- (3) 届出医療機関は、届出内容に変更が生じた場合は、適宜、事務局へ届出（様式は届出様式に準ずる。）るものとする。

4 届出の更新

届出の更新は、原則として年1回実施することとし、更新手続きは、届出手続きに準じて行うものとする。

5 届出に係る事務

精密検査実施医療機関の届出に関する事務は、愛媛県保健福祉部健康衛生局健康増進課において行う。

6 その他

この要領に定めるもののほか、各検診精密検査実施医療機関の届出に関して必要な事項は、会議で定める。

- 附 則
この要領は、平成 15 年 2 月 7 日から適用する。
- 附 則
この要領は、平成 15 年 4 月 1 日から適用する。
- 附 則
この要領は、平成 16 年 11 月 8 日から適用する。
- 附 則
この要領は、平成 18 年 8 月 31 日から適用する。
- 附 則
この要領は、平成 19 年 8 月 30 日から適用する。
- 附 則
この要領は、平成 23 年 1 月 31 日から適用する。
- 附 則
この要領は、平成 26 年 11 月 11 日から適用する。
- 附 則
この要領は、平成 27 年 12 月 21 日から適用する。
- 附 則
この要領は、平成 29 年 12 月 13 日から適用する。
- 附 則
この要領は、平成 30 年 12 月 17 日から適用する。
- 附 則
この要領は、令和 3 年 12 月 1 日から適用する。
- 附 則
この要領は、令和 5 年 12 月 7 日から適用する。
- 附 則
この要領は、令和 7 年 12 月 1 日から適用する。

(別記)

1 胃がん検診精密検査医療機関届出基準

- (1) 精密検査として、上部消化管内視鏡検査あるいはX線透視検査が実施できること。
- (2) 精密検査の結果は、精密検査結果報告書の所定記載事項に結果を記入し、市町又は検診受託機関へ速やかに返送するなど市町の行う胃がん検診の精度管理の向上に協力すること。また、精密検査の結果については、必要に応じて愛媛県生活習慣病検診等管理指導会議消化器がん部会に報告されることについて了承すること。
- (3) 発見された胃がんに関して、部会等が実施する事後調査等に積極的に協力するとともにがん登録を適切に行うこと。
- (4) 担当医が、愛媛県生活習慣病予防対策講習会（胃がん予防対策講習会）を受講すること。
- (5) 各種の関連学会等への参加を通じて、常に胃がん検診に関する学術情報や知見を得るよう努めていること。

2 大腸がん検診精密検査医療機関届出基準

- (1) 精密検査として、全大腸が観察できること。精密検査の第一選択は全大腸内視鏡検査とする。精密検査を全大腸内視鏡検査で行うことが困難な場合においては、S状結腸内視鏡検査及び注腸エックス線検査（二重造影法）の併用による精密検査を実施する。ただし、その実施に当たっては、十分な精度管理の下で、注腸エックス線検査の専門家により実施すること。
- (2) 精密検査の結果は、精密検査結果報告書の所定記載事項に結果を記入し、市町又は検診受託機関へ速やかに返送するなど市町の行う大腸がん検診の精度管理の向上に協力すること。また、精密検査の結果については、必要に応じて愛媛県生活習慣病検診等管理指導会議消化器がん部会に報告されることについて了承すること。
- (3) 発見された大腸がんに関して、部会等が実施する事後調査等に積極的に協力するとともにがん登録を適切に行うこと。
- (4) 担当医が、愛媛県生活習慣病予防対策講習会（大腸がん予防対策講習会）を受講すること。
- (5) 各種の関連学会等への参加を通じて、常に大腸がん検診に関する学術情報や知見を得るよう努めていること。

3 肺がん検診精密検査医療機関届出基準

- (1) ①または②のいずれかに該当すること。
 - ① 精密検査として、気管支鏡検査及び高分解能CT検査が実施できること。
 - ② （一社）日本呼吸器学会専門医あるいは呼吸器外科専門医合同委員会認定専門医がいること。
- (2) 精密検査の結果は、精密検査結果報告書の所定記載事項に結果を記入し、市町又は検診受託機関へ速やかに返送するなど市町の行う肺がん検診の精度管理の向上に協力すること。また、精密検査の結果については、必要に応じて愛媛県生活習慣病検診等管理指導会議肺がん部会に報告されることについて了承すること。

- (3) 発見された肺がんに関して、部会等が実施する事後調査等に積極的に協力するとともにがん登録を適切に行うこと。
- (4) 担当医が、愛媛県生活習慣病予防対策講習会（肺がん予防対策講習会）を受講すること。
- (5) 各種の関連学会等への参加を通じて、常に肺がん検診に関する学術情報や知見を得るよう努めていること。

4 乳がん検診精密検査医療機関届出基準

- (1) 精密検査として、要精検者に対して下記の検査および診断が行われる施設とする。
 - ① 問診／視触診
 - ② マンモグラフィ
 - ③ 乳房超音波検査
 - ④ 画像誘導下生検ただし、④については、細胞診・組織診ができる施設との連携ができる場合も条件を満たすものとする。
- (2) 精密検査の結果は、精密検査結果報告書の所定記載事項に結果を記入し、市町又は検診受託機関へ速やかに返送するなど市町の乳がん検診の精度管理の向上に協力すること。また、精密検査の結果については、必要に応じて愛媛県生活習慣病検診等管理指導会議乳がん部会に報告されることについて了承すること。
- (3) 発見された乳がんに関して、部会等が実施する事後調査等に積極的に協力するとともにがん登録を適切に行うこと。
- (4) 担当医が、愛媛県生活習慣病予防対策講習会（乳がん予防対策講習会）を受講すること。
- (5) 各種の関連学会等への参加を通じて、常に乳がん検診に関する学術情報や知見を得るよう努めていること。

5 子宮頸がん検診精密検査医療機関届出基準

- (1) 日本産科婦人科学会の専門医が1名以上勤務していること。（常勤・非常勤は問わない。）
- (2) コルポスコープが設置され、コルポスコープに習得した医師が行うこと。
- (3) 細胞診及び精密検査としてコルポスコープによる狙い組織診が実施可能であること。
- (4) 精密検査の結果は、精密検査結果報告書の所定記載事項に結果を記入し、市町又は検診受託機関へ速やかに返送するなど市町の行う子宮頸がん検診の精度管理の向上に協力すること。また、精密検査の結果については、必要に応じて愛媛県生活習慣病検診等管理指導会議子宮がん部会に報告されることについて了承すること。
- (5) 発見された子宮頸がんに関して、部会等が実施する事後調査等に積極的に協力するとともにがん登録を適切に行うこと。
- (6) 担当医が、愛媛県生活習慣病予防対策講習会（子宮がん予防対策講習会）を受講すること。
- (7) 各種の関連学会等への参加を通じて、常に子宮がん検診に関する学術情報や知見を

得よう努めていること。

6 肝炎ウイルス検診精密検査実施医療機関届出基準

- (1) (一社)日本肝臓学会専門医あるいは(一財)日本消化器病学会専門医が1名以上勤務していること。(常勤・非常勤は問わない)
- (2) 検査の実施にあたっては、十分な精度管理の下で、専門医により実施すること。
- (3) 精密検査の結果は、精密検査結果報告書の所定記載事項に結果を記入し、市町(検診受託機関)へ速やかに返送するなど市町の行う肝炎ウイルス検診の精度管理の向上に協力すること。また、精密検査の結果については、必要に応じて愛媛県生活習慣病検診等管理指導会議肝がん部会に報告されることについて了承すること。
- (4) 発見された肝がんに関して、部会等が実施する事後調査等に積極的に協力するとともにがん登録を適切に行うこと。
- (5) 担当医が、愛媛県生活習慣病予防対策講習会(肝がん予防対策講習会)を受講すること。
- (6) 各種の関連学会等への参加を通じて、常に肝がん検診に関する学術情報や知見を得るよう努めていること。